

市民調査【対象：市民】

質問1 あなたの年代について、教えてください。

選 択 肢	回 答	選 択 肢	回 答
① 20代・・・	11.3%	④ 50代・・・	15.1%
② 30代・・・	22.6%	⑤ 60代・・・	8.2%
③ 40代・・・	32.1%	⑥ 70代以上・・・	10.7%

質問2 あなたは和光市にどのようにして住むようになりましたか。

選 択 肢	回 答
① 和光市で生まれ育った	15.7%
② 県内の別の市から転入してきた	18.2%
③ 県外から転入してきた	61.6%
④ 外国から天祐してきた	0.6%
⑤ その他	3.8%

【考察】

- 保護者への質問に対する回答でも、ほぼ同様の数値が示されていたが、③の6割を超える数値は、大都市圏に隣接する本市の特徴の一つと捉えられる。

質問3 あなたが、一緒に居住されている方はどなたですか。

選 択 肢	回 答
① 小・中学生がいる	30.8%
② ①以外の人がいる（小・中学生はいない）	54.7%
③ 一緒に住んでいる人はいない	14.5%

【考察】

- 単身居住者が約1.5割であるが、この中には20代や70代が入っているものと思われるので、この数値からの単身居住者が多い、少ないという判断はできない。

質問4 あなたは、和光市の子供たちがどのように育ってほしいと思っていますか。

選 択 肢	回 答
① 思いやりのある子供	64.8%
② 元気のある子供	18.9%
③ 創造性豊かな子供	21.4%
④ 学力が高い子供	6.3%
⑤ 得意な分野がある子供	6.3%
⑥ 健康で体力のある子供	23.3%
⑦ 規則正しい子供	5.0%
⑧ 向上心のある子供	14.5%
⑨ 問題解決力のある子供	17.6%
⑩ 目標をもち努力する子供	20.1%
⑪ 協調性のある子供	18.9%
⑫ 公共心・公德心のある子供	17.0%
⑬ 地域に愛着のある子供	9.4%
⑭ コミュニケーション能力のある子供	22.0%
⑮ 国際感覚のある子供	6.9%
⑯ 視野が広く多様な考え方ができる子供	26.4%
⑰ その他	0.0%

【考察】

- ①の6割を超える数値は、おそらく誰しもが願う子供の姿であると思われる。また、③、⑥、⑩、⑭⑯はそれぞれ約2割を超える数値であるが、これらも基本的に身に付けさせたい資質と捉えることができる。一方、④、⑤、⑮などは、もう少し高い数値を予測したが、いずれも1割にも満たないことに意外性が感じられた。

質問5 あなたは、子供たちが健やかに育つために、地域でどのような取組が必要と考えますか。

選 択 肢	回 答
① 地域全体で子供たちを育成していこうとする意識を啓発する	38.4%
② 子供たちの健全育成について協議したり相談できたりする窓口を充実させる	11.9%
③ コミュニティ・スクールを活用して、子供たちの豊かな学びの環境をつくる	22.6%
④ 日常的に地域の子供たちへの挨拶や声掛けなどをする	29.6%
⑤ スポーツや文化活動を通して地域の世代間交流を深める	22.0%
⑥ 子供たちに有害な情報や環境を取り除き、健全なまちづくりを推進する	15.7%
⑦ 子供たちに地域ボランティア活動の機会を提供する	25.2%
⑧ 地域の歴史や伝統文化に触れる機会を提供する	18.9%
⑨ 生徒指導や非行問題等について、地域ぐるみで取り組む	7.5%
⑩ 地域の大人が、子供たちのマナーやモラルの手本となる	42.1%
⑪ 子育て世代への地域の関わる機会を増やす	18.9%
⑫ 世代間交流を深めるイベントや機会をつくる	13.2%
⑬ 子供たちの文化・スポーツ活動への支援をする	23.9%
⑭ その他	3.8%

・大人が自分の住んでいる環境を大切にする ・親からの虐待に対して積極的に対応してほしい ・教育の充実 ・否定しないディスカッションやブレストなどを授業に取り入れる ・近隣市のように高校生まで医療費を無料にする ・学校以外でも学べるフリースクールのようなものをつくる

【考察】

- 地域の活性化は、学校と地域の融合を基盤にした取組の充実であり、地域が取り組む有用性として①、④、⑦、⑩が、約3～4割を超える数値を示しており、最も基本的な取組であると捉えられる。地域コミュニティの希薄化が指摘される中で、⑨が1割に満たない数値であることから、もっと地域への働き掛けを強固にしていく必要がある。

質問6 あなたが、学校の教育活動について支援や協力ができると思うことはどんなことですか。

選 択 肢	回 答
① 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活動など	39.0%
② 学校図書館活動への支援や協力、読み聞かせなど	27.7%
③ 学校の環境整備、美化活動など	39.0%
④ 学校行事等の運営に係る支援など	27.7%
⑤ 登下校の安全、見守り活動など	46.5%
⑥ PTA・保護者会活動など	14.5%
⑦ 授業補助や放課後指導の支援など	22.0%
⑧ 授業公開や授業参観への参加など	31.4%
⑨ 部活動の指導や支援など	15.1%
⑩ その他	7.5%

・福祉教育 ・地域の歴史指導 ・地区社協との連携 ・金銭面 ・模範となる行動を心がける
・特にない(4) ・できない、難しい(3)

【考察】

- 地域の方々が比較的関われる取組として、⑤が約5割近い数値になっていることは予測されるものであり、約3～4割を示している①、③、⑧の取組の充実を図ることで、さらに学校と地域の協働活動の推進が期待できるものと捉えられる。

質問7 あなたは、和光市の図書館をどのくらいの割合で利用されていますか。

選 択 肢	回 答
① ほぼ週に1回以上利用している	3.1%
② およそ月に1～3回程度利用している	13.2%
③ 年に数回程度利用している	32.1%
④ 利用していない	48.4%
⑤ その他	3.1%

・練馬区を利用 ・自宅から遠いので、近隣自治体の図書館を利用 ・必要な時に利用 ・ここ10年利用なし

【考察】

- 市立図書館の利用状況として、④が約5割近い数値になっている点は意外である。図書館利用は市民の学びのパロメーターでもあり、市民にとって利便性があり活用しやすい図書館の充実を図っていく必要がある。

質問8 質問7で、①～③の番号を選ばれた方のみ、お答えください。あなたが、図書館を利用される目的は何ですか。

選 択 肢	回 答
① 自分の調査・研究に関わる文献等を利用するため	23.4%
② 趣味や教養に役立てるため	76.6%
③ 諸資格取得のための書籍・文献等を利用するため	6.5%
④ 仕事や生活に役立つ情報を得るため	50.6%
⑤ 図書館行事等に参加するため	5.2%
⑥ 特に目的はない	9.1%
⑦ その他	9.1%
・市内にあるため ・子供の本を選ぶため ・読み聞かせの本を選ぶため ・子供の付き添い	

【考察】

- 図書館利用の目的として、②が約7割を超え、④が約5割の数値を示しているが、これらは一般的な利用目的と捉えられる。これからの社会においては、リカレント教育や学び直しに視点を当てた取組が求められており、①、③などで活用される蔵書整備等が必要がある。

質問9 質問7で、④「利用していない」の番号を選ばれた方のみお答えください。あなたが、図書館を利用されないのはどのような理由からですか。

選 択 肢	回 答
① インターネットで調べたりできるから	64.9%
② 必要な書籍は自分で購入しているから	40.3%
③ 書籍が十分に揃っていないから	6.5%
④ 施設・設備が不十分だから	1.3%
⑤ 図書館員の対応が不満だから	0.0%
⑥ 場所的に不便だから	45.5%
⑦ その他	14.3%
・遠い (3) ・時間が無い (2) ・借りている時間が短い ・席が少ない ・コロナが怖い ・勤務先や他自治体を利用 (3)	

【考察】

- 質問7において、利用していない割合が約5割近い数値を示しており、その主な理由として、①の約6割を超える数値は情報化の進展の中で必然的なものと捉えられる。一方、場所的な課題を上げられている人も約4割を超えており、図書館に行かなくても借りられるようなサービスの在り方そのものを変えていく必要がある。

質問10 あなたは、これからの図書館の在り方について、どんなところに力を入れてほしいと思っていますか。

選 択 肢	回 答
① 施設や設備の充実	51.6%
② 開館日や開館時間の充実	18.9%
③ レファレンスなど職員の資質の向上	5.7%
④ 行事（講演会、読み聞かせ）等の充実	11.3%
⑤ 蔵書や選書の充実	38.4%
⑥ 広報や情報提供の充実	14.5%
⑦ 読書活動などの推進の充実	7.5%
⑧ 貸し出しシステム等の効率化など	35.8%
⑨ その他	6.9%
・アクセスの充実 ・除菌 ・中高生の自習スペース拡充 ・電子レンタル ・本の増加 ・カフェをつくる ・座って読める場所、机の利用時間制限の解除 ・郷土資料室の拡充	

【考察】

- 図書館のこれからの取組に関するものであり、①、⑤、⑧が約3～5割の数値を占めており、市民の要望としては当然の選択肢であると捉えられる。一方、③、⑦は1割に満たない数値であるが、これまで取り組んできた成果の表れであれば喜ばしいものである。

質問 11 あなたは、和光市の公民館をどのように利用されていますか。

選 択 肢	回 答
① ほぼ週に1回以上は利用している	1. 9%
② およそ月に1～3回程度利用している	10. 1%
③ 年に数回程度利用している	17. 6%
④ 利用していない	70. 4%
⑤ その他	0. 0%

【考察】

- 市民の学びに直結する公民館の利用状況において、④が約7割を占めている点については、公民館の本来の役割を考えると大変厳しい数値になっている。その背景には、本来はどの年齢層にも活用されることが望ましいが、現状では生産年齢層の活用が乏しく趣味・娯楽などのカルチャー的な活用のできる年齢層に偏りがあると捉えられる。それぞれの年齢層が持つ地域課題解決のために活用される「学習講座」などの充実が求められる。

質問 12 質問 11 で、①～③の番号を選ばれた方のみ、お答えください。あなたが、公民館を利用される目的は何ですか。

選 択 肢	回 答
① 公民館主催の講演会や行事に参加するため	27. 7%
② 自主サークル活動のため	42. 6%
③ 仲間の交流を深めたいため	6. 4%
④ 公民館のボランティア活動のため	6. 4%
⑤ その他	17. 0%
・会議、打合せ(3) ・地域の行事準備 ・自治会、民生委員活動 ・講習会開催 ・保育園父母会役員 ・地域子供防犯ネット参加	

【考察】

- 地域の社会教育施設である公民館活動において、②が約4割以上の数値を占めていることについては予測されるものであるが、地域住民のコミュニティ形成に大きな役割を果たすと思われる③の数値が1割にも満たないことは、公民館が地域の学びや交流の拠点としての役割が果たし切れていない表れとも捉えられる。青少年から高齢者層の交流を深められる取組の充実が求められる。

質問 13 質問 11 で、④「利用していない」の番号を選ばれた方のみお答えください。あなたが、公民館を利用されないのはどのような理由からですか。

選 択 肢	回 答
① 仕事が忙しく、活動ができないから	37. 5%
② 公民館の活動にあまり関心がないから	33. 9%
③ 他の施設を利用しているから	8. 0%
④ 利用料金が不満だから	0. 0%
⑤ 公民館員の対応が不満だから	0. 0%
⑥ 場所的に不便だから	10. 7%
⑦ その他	9. 8%
・利用機会なし(2) ・利用目的がない(3) ・場所が分からない(3) ・何をしたいか分からない ・勤務先利用	

【考察】

- 利用しない理由として、①が約4割近い数値についてはある程度頷ける面があるが、②の約3割を超える数値はまさに公民館事業のあり方に係るものであり、市民にとって魅力ある学びとなる講座や事業を充実し、学ぶ楽しさを体感できる取組を推進していく必要がある。

質問 14 あなたは、これからの公民館の在り方について、どんなところに力を入れてほしいと思っていますか。

選 択 肢	回 答
① 施設や設備の充実	39.6%
② 開館日や開館時間の充実	11.9%
③ 公民館事業や講座の充実	26.4%
④ 行事（講演会、公民館祭り）等の充実	17.0%
⑤ 社会教育専門職員の配置	2.5%
⑥ 広報や情報提供の充実	20.1%
⑦ 地域活動との連携・協働の推進	25.2%
⑧ 指導者の育成と活用	6.9%
⑨ 子供たちの活用の促進	35.2%
⑩ その他	5.7%
・地域の歴史資料の展示の充実 ・施設の老朽化の改善 ・広報の充実等 ・もっと利用できるような運用等 (3) ・特にない、知らない (3)	

【考察】

- 公民館の在り方として、①が約4割を占めていることは、質問10の図書館に求められる数値と同様に、現状の施設設備が市民の学びのニーズに対応できていないことの表れとも捉えられる。また、⑨の数値が約3.5割を占めており、子供たちの居場所としての活用促進が期待されているものと思われる。一方で、⑤、⑧など、社会教育を推進していく上で重要な働きをする人材等について、あまり関心がもたれていない点が気になる点である。

質問 15 あなたは、和光市が主催する諸行事や催し、講座等の情報はどのような方法で得るようにしていますか。

選 択 肢	回 答
① 市の広報誌などから	79.9%
② 市のホームページなどから	32.1%
③ 市の掲示板などから	20.1%
④ 各施設等のチラシやポスターなどから	27.7%
⑤ 自治会の回覧板などから	8.8%
⑥ 知人・友人や家族などから	20.1%
⑦ 直接の問い合わせ	0.0%
⑧ 市庁舎内の掲示物などから	4.4%
⑨ その他	1.3%
・市や市長のツイッターから ・居住していない	

【考察】

- 市の情報の伝達ツールとして、①が約8割近い数値を占めている。情報機器が発達している中であっても②は約3割程度であり、市民にとって「広報誌」の果たす役割の大きさが捉えられる。従来の社会において、地域を結ぶ⑤の役割は大きいものであったが、地域コミュニティの希薄化の中で約1割に満たない数値が気になる点である。

質問 16 あなたは、和光市について「ふるさと」としての愛着をどの程度感じていますか。

選 択 肢	回 答
① たいへん、強く感じている	11.9%
② どちらかと言えば、感じている	32.1%
③ どちらとも言えない	20.1%
④ あまり感じていない	22.6%
⑤ 感じていない	9.4%
⑥ その他	3.8%
・仕事を通じて感じている ・わこうっちが好き ・転入して時間がたっていないので分からない (3)	

【考察】

- これまでの和光への居住に関する質問でも明らかになったが、他市・他県から転入してきた割合が多い本市においては、①の約1割程度の数値は仕方ないことであるが、②、③の受け止め方をしている人たちが、本市での生活を通して①のような愛着を抱いてもらうことは、今後の教育行政の充実によって可能性を広げることができるものと思われる。

質問 17 あなたは、和光市の歴史や文化財について、どのように思っていますか。

選 択 肢	回 答
① 歴史や文化は、市の貴重な財産として保護をしていく	40.9%
② 次世代にしっかりと引き継いでいく	25.2%
③ 歴史や文化を尊重していく市民意識を高めていく	13.8%
④ 資料館などに展示をして、市民にもっとPRする	27.0%
⑤ 伝統・文化を継承していく仕組みをつくる	18.9%
⑥ 歴史や文化を学べる場をつくる	37.1%
⑦ あまり関心がない	20.8%
⑧ その他	3.8%
・歴史を踏まえ、未来の想像図も作り子供たちに希望を持たせている ・知らない (3) ・何もない	

【考察】

- 歴史・文化の継承に係る質問であり、①が約4割、②、④が約2割を超えていることから、文化財等を保護していくことの重要性についての理解があるものと捉えられるが、③、⑥の割合を高めていくためにも今般の「午王山遺跡」の国指定を契機とした取組の充実が求められる。

質問 18 あなたは、和光市のスポーツ施設や事業などの取組について、どのように思っていますか。

選 択 肢	回 答
① 施設や設備の充実を図ってほしい	42.1%
② 地域のつながりができるようなスポーツを推進してほしい	20.8%
③ 一市民スポーツの取組を充実してほしい	4.4%
④ 運動施設の拡充を図ってほしい	34.0%
⑤ 誰もが楽しめるような運動を普及してほしい	23.3%
⑥ 様々なスポーツ団体の活動内容をもっと分かるようにしてほしい	26.4%
⑦ 各施設の利用料金の引き下げをして使いやすくしてほしい	18.9%
⑧ 市全体として具体的なスポーツ振興策を示してほしい	11.9%
⑨ その他	9.4%
・施設の利用やイベントへの参加など十分に満足 (3) ・遠い (2) ・スポーツに興味なし (2) ・プールの充実 ・子供がボール遊びのできる公園等が欲しい ・施設開放の充実と指導者の配置 ・誰でも利用できるシステムの構築 ・文化事業に税金を使ってほしい ・施設の充実	

【考察】

- 市のスポーツ施策に関わるものであるが、①が約4割を切る数値となっており、アーバンアクア施設の運用などを通して、市民要望に応えることができるものと思われる。一方、③は本市のスポーツ施策のキーワードとなるものであるが、約1割に満たない数値は市民に対する施策の浸透が図られていない表れであると捉えられる。運動関係団体との協働活動の推進により、⑤や⑥の取組の充実が必要である。